

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

(仮称)長岡京駅前ビル 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.3	
Q1 室内環境					0.39			2.5	
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0	
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.40		
2 界壁遮音性能				3.0	0.96	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.04	3.0	0.30		
4 界床遮音性能(質量衝撃源)					-	3.0	0.20		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境				1.7	0.35	2.2	1.00	2.0	
2.1 室温制御				2.2	0.63	3.0	0.63		
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				1.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				-	-	-	-		
2.3 空調方式				1.0	0.38	1.0	0.38		
3 光・視環境				1.7	0.25	3.0	1.00	2.4	
3.1 屋光利用				1.8	0.30	4.2	0.30		
1 屋光率		屋光率: 宿泊部1.25%以上		1.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口					-		-		
3 屋光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				1.0	0.30	3.0	0.30		
1 屋光制御				1.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				1.0	0.15	1.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				2.8	0.25	3.6	1.00	3.2	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				2.0	0.30	3.0	0.38		
1 換気量				3.0	0.48	3.0	0.33		
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上		3.0	0.03	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.48	1.0	0.33		
4.3 運用管理				1.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				-	-		-		
2 喫煙の制御				1.0	1.00		-		
Q2 サービス性能					0.30			2.6	
1 機能性				2.2	0.40	2.6	1.00	2.4	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	1.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応		各客室にGbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境が整備されている。		-	-	5.0	0.50		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				-	-		-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				2.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-	2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水VP(B)、汚水排水VP(B)、通気VP(A)、Eは不使用		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.6	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

3	対応性・更新性		3.0	0.30	2.4	1.00	2.6
	3.1 空間のゆとり		-	-	1.8	0.50	
	1 階高のゆとり	-	-	-	1.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-	-	-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.03	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.97	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.31	-	-	1.8
1	生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性						3.2
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.6
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.71	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	BEI _m =0.60	3.4	0.50	-	-	3.4
	集合住宅以外の評価		3.4	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.6
1	水資源保護		2.6	0.20	-	-	2.6
	1.1 節水	-	1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.7	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	井水を洗浄水として全館で利用	4.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60	-	-	2.7
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	持続可能な森林から算出された木材の使用比率が50%以上	5.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		2.3	0.20	-	-	2.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避	-	2.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	1.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率65%	4.4	0.33	-	-	4.4
2	地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用しておらず、外部空間に対して大気汚染物質を全く発生していない。	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制	-	2.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

仮称)長岡京駅前ビル 新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	1.0	1.0	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	5.0	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	3.0	3.0	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	2.0	2.0	-	-	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	2.0	2.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	1.0	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0	7.0	-	2.0	2.0	1.0	-	-	-	-	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 給排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0	5.0	1.0	-	-	3.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	2.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に照れる光への対策	2.0	2.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

室システムSC	0.7	窓の日射熱取得率(η) 0.6					
U値(W/m2K)	窓システム 3.1	屋根	0.5	外壁	0.6	床	0.5
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	ηAC -	ηAH -			
昼光率	昼光率:31.9%						
自然換気有効開口面積率	14.0%						

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

集合住宅の評価

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

執務スペース	0㎡ /人	病床	0㎡ /床	シングル	12.6㎡ ツイン	14.9㎡	
コンセント容量	0.0 VA/㎡						
天井高	2.45 m						
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%				
想定耐用年数	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
階高	2.95 m						
壁長さ比率	38.0%						
床荷重	- N/m2						
外構緑化指数	19%	建物緑化指数	0%				
空地率	74%	水平投影面積率	27%	地表面対策面積率	10%	舗装面積率	42%
BPI/BPI _m	0.71	断熱等性能等級	対象外 相当				
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%		
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%		
		太陽光	21.2kW	太陽熱等	0.0kW	蓄電池	0.0kW
BEI/BEI _m	再エネ率	0.60	無	0.60	オフサイト再エネ率	-	-
一次エネルギー削減率	再エネ率		無			-	-
雨水利用率	0.0%						
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-		
使用比率	87.9%						
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)						
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)						
オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)						
見付面積比	132%	隣接間隔指標Rw	0.83				
地表面対策面積率	12.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%		
見付面積S _b	674㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	41.148 m	基準高さH _b	12.33 m		
緑地	128㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡
					㎡	再帰性反射対策面	㎡